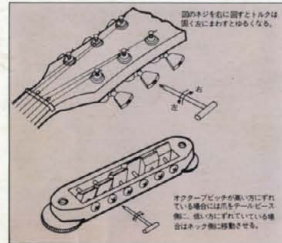
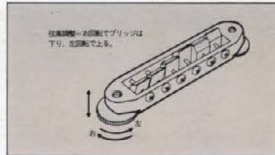


独断と偏見の向こうに真理が見える。愛器のためのチェック&ケアあれこれ。

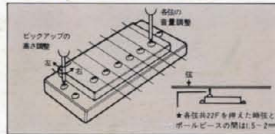
弦の巻き方が誰な人は、絶対にギターが上手くならない。どんな弦でも糸巻に最低3〜4回巻きつけること。特に1、2、3弦は10周以上順番通り下に向かってキチンと巻くこと。弦を張った次は、男の力、八分の方で5〜6回十分に伸ばしてからチューニングをキチンとして欲しい。そして実際に演奏する場所に10分ぐらい置いておいて再度チューニングをすること。要するに、演奏する場所と同じ温度の所でチューニングしておかないと、弦が伸びたり縮んだりしてチューニングが狂ってしまうのです。無論、チューニングは万全の注意を払ってやるのが中心。独りで軽く弾く時でも、バンドの仲間と一緒に奏する時でもこれを厳守すること。つねに正しいチューニングをしていないギターはフレット音痴などの狂いが出やすくなるから要注意です。また、糸巻を巻いている時やトレ



モロアームを使っている時に上駒のところで弦がキックするときしんだら、弦をホールドしている溝をひろげるとかオイルを塗るとかしてキックを早割退散すべし。たとえば、チューニングした際にキックと音がしたらもうチューニングは狂っちゃうわけだから。チューニングに聞かしてアト一言、人間の耳はかなり不正確だからしてチューニングメーターや音叉をおおいに活用しよう。次にテンション、つまり弦の張力を強めるにはどうしたらよいか。ボクのやり方を紹介しよう。上駒から糸巻への角度は糸巻に巻きつける回数で調整し、ブリッジからテールピース



スへの角度は弦高をブリッジで調整しながらテールピースを低くセットする、という方法をとっているんだ。弦が切れやすくなる傾向が出るけれど、弦が傷つきやすいようなブリッジのところがヤスリで磨いてその解決策としている。それよりも、弦は1目で1本切るぐらいの覚悟で、強くピシピシ弾く練習をしなければダメなのです。そして、ピックアップバランスのとれ方。ピキナーにと



ってイラストのやり方がいちばんクレーンな方法だ。が、腕を上げるにつれ多少の冒険心が生まれてくるものもしかたがないというもの。そこでボクの実験から生まれたピックアップバランスのとれ方をひとつ明かそう。それは定説とは逆に、弦からピックアップを遠ざける方法なんだ。パワーのロスとピッキングでカバーするわけ。音量的にも強弱を表現でき、ニュアンスも豊かになるけれど、ピッキングの良し悪しがダイレクトに出してしまうだけに即ピキナー向きというわけにはいかないのです。ところで弾き終わったアトの手順、つまり保存の方法はどうしたらいいか。第1に、弦や指板の手あかや湿気を乾いたクロスでふきとり、大敵のサビから完全なガードを。第2に、湿気はギターの影響を殺し、直射日光は反り・ゆがみ・ヒビ割れの原因になるから保存はギターケー

インストラクター：小林克己



小林克己氏略歴
●東京府練馬区出身の近江春夫とハルアマンのリードギタリストとして活躍。●教則レコードの監修、映画「金田一耕助」の音楽監督兼作曲、「小林克己ロックギター教室全3巻」執筆、ラジオ番組「ヤッパ・ロックスポットDJ」など、ギタリスト、作曲家、アレンジャー、プロデューサーとしてその出だせ活躍は多岐にわたっている。

ースに入れて、その際、必ずしも弦をゆるめる必要はないというのがコバヤシギターキーピングメソッドなのだ。なぜかと言うと、最近よく使われる0.09や0.10のゲージの場合かなりテンションが弱くなって、これをゆるめるとかえってネックの逆反りの原因になっちゃうんだネ、こ



れが(ネック反りの修正方法はイラストを参考に)、ネックを曲げちゃうぐらいならキチンとチューニングしたまま保存した方がいいというわけです。その時注意しなければいけないことは必ずセット弦を張っておくこと。ベースや太目の弦を使っているギターについては定説通り弦をゆるめて保存して欲しい。ここで最後に、独断と偏見について、結論になる保存方法を伝授しよう。問題は保存場所なのだ。直射日光もいけないが日陰の湿気のある所ももちろん論外。実は、押入れが理想的です。二段あったら当然の方、天井に近い所はいい。天袋があればもう言うことナシ。そこへケースに入れたまま置き込んでおくのです。この件に関して10年間研究研鑽しているわが恩友からダメ押しの一言、「できればコンクリートマンションではなく、日本古来の木造家屋の天袋だネ」。